

## 第2学年社会科学学習指導案

日時 平成19年10月26日(金)5校時  
学級 盛岡市立城西中学校 2年2組  
(男子16名 女子18名 計34名)  
指導者 角谷 真貴子

### 1 単元・題材名

第1章 さまざまな面から見た日本 「世界と日本の人口」  
(『新しい地理』 東京書籍 )

### 2 単元・題材について

#### (1) 単元・題材について

本単元は、「第3編 世界から見た日本のすがた」の「第1章 さまざまな面から見た日本」「第2章 さまざまな視点から見た日本」から構成される。日本の「自然環境」「生活と文化」「人口」「産業と自然」「地域間の結びつき」について、我が国の国土の特色を大観させること、各項目についての国土の特色を地域間の比較や関連づけの中から類似性や傾向性に着目して明らかにするとともに、地域的特色を明らかにする調べ方・学び方を身につけさせること、ならびに「生活と文化」「人口」「地域間の結びつき」については国土の特色を事例地域を通して具体的に考察させることを目標としている。この目標は、学習指導要領における次の目標と結びつくものである。

#### 【地理的分野】1 目標

(2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとかかわりにとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色をとらえるための視点や方法を身につけさせる。

#### (2) 教材について

この単元では、世界と日本の自然環境、生活と文化、人口、資源と産業、地域間の結びつきについて地理的事象・地域的特色を多面的、多角的に考察しながら、国家規模の地域的特色をとらえる視点や方法を取り扱う。そのために、世界の地域に関する諸資料を収集、選択、処理し、地理的にまとめ、表現したり、地域間を比較・関連づけてとらえる調べ方や学び方を学ぶのには適した教材であると考えられる。

#### (3) 生徒について

生徒は小学校5年生で国土の環境と人々の生活・産業との関連、小学校6年生で地図・年表などの効果的活用とその表現について学んでいる。また、中学校1年から現在まで、世界の地域構成、日本の地域構成、身近な地域、都道府県、世界の国々について学習してきた。特に資料の読み取り、グラフや表の作成は学習内容に関連したものでこれまでの授業でも行ってきた。生徒の中には、グラフの読み取りが不十分であったり、読み取ったことを表現するのが苦手な生徒もいるが、机間巡視等で躓きを指摘すると問題に取り組める生徒が多い。

学習に対しては意欲的に取り組むことができる生徒が多い。教師からの問いや生徒の発言をよく聞き、熱心に取り組む姿が見られる。資料から読み取れることや予想されることを問うと男子を中心に発言が出ることが多い。ただ、これまでの既習事項などと関連づけた考え方や見方をすることはあまりなく、単発的なやりとりになってしまうことが多い。

そこで、本教材では世界の人口に関する写真・グラフ・読み物などの資料を活用しながら、世界

の国に関する既習事項を振り返る場面も入れて読み取りや発表をさせていきたい。資料の読み取り方の視点を適時与えながら、資料から気づくこと・分かることを生徒の言葉で引き出すことで、学習課題の解決に向けてすすめていきたい。

#### (4) 指導の構想

本単元では、世界の人口分布や人口増加には大きな地域的偏りがあり、さらに年々増す人口増加の原因とその対策について理解させたいと考える。

そこで、本単元における「生徒の役割」「教師の役割」を次のようにする。

##### 【 生徒の役割 】

資料から人口の変化を読み取り、その原因を考え発表する。

作図や作業を通し、地域ごとの人口の分布に違いがあることを理解する。

##### 【 教師の役割 】

生徒の興味・関心が高まるような資料を提示する。

作業の指示を的確に出し、机間巡視をしながらスムーズに進むようにする。

資料を多角的・多面的に読み取れるよう、発問に配慮しながら生徒の考えを引き出す。

### 3. 単元の目標

- (1) 世界と日本の人口について、世界的視野から日本を一つの地域として見た日本の地域的特色と、日本全体の視野から見た国内の諸地域の特徴をとらえる活動を通して、わが国の国土の特色を人口の面からとらえる。
- (2) 世界の人口分布や人口増加には大きな地域的偏りがあり、人口増加が著しい国々について人口増加の原因を理解するとともに、どのような対策がとられているか考えさせる。
- (3) 日本の人口分布図から過疎・過密の傾向性を読み取らせ、それぞれ具体的に事例地域を取り上げてその特色を学習させ、これからの在り方を考えさせる。

### 4. 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
・現在の日本の人口構成や人口分布が大きく偏っていることに関心をもち、高齢社会や少子化、過疎・過密がもたらす社会的な課題について意欲的に学習しようとするができる。	・世界の人口増加地域を知るとともに、その地域の人口抑制策や問題点について考える。 ・日本の人口分布における過疎と過密が、くらしのうえにどのような課題をもたらしているのか学習し考察する。	・地域ごとの人口構成を考察するために人口ピラミッドを描いたり、分布図を作成したりすることができる。 ・過密、過疎地域の特徴を考察するために各種の情報を収集、選択して活用できる。	・世界の人口分布は都市や工業の発達した先進工業国とアジアの稲作地域に集中していることに気づくとともに、日本でも過密、過疎地域があり、人々の暮らしに大きな影響を与えていることを理解し、その知識を身につけることができる。

5. 単元の指導計画 (5 時間)

時数	学習内容
1 (本時)	世界の人口分布とその推移
2	日本の人口と人口問題
3	かたよる日本の人口分布
4	過密の問題とその取り組み
5	過疎の問題とその取り組み

6. 本時の指導

(1) 目標

- ・世界の人口の変化に関心を持ち、総人口が最近の20～30年で急増している様子とその要因、問題点について理解する。(知識・理解)
- ・分布図やグラフから、人口は、都市や工業の発達した先進工業国、アジアの稲作地域に集中し、不均等な分布をしていることを読み取るとともにその要因について考える。(思考・判断)

(2) 本時における【生徒の役割】【教師の役割】

【生徒の役割】

- 資料やグラフから、世界の人口の特色を要点をおさえて読み取る。
- 世界の今後の人口増加を予想し、これから起こりうる課題点を考え、発表する。

【教師の役割】

- 世界の人口の実態を表す資料を提示する。
- 資料を多角的・多面的に読み取れるよう、発問に配慮しながら生徒の考えを引き出す。

(3) 展開

過程	学習内容	学習活動	留意点	評価
導入	1. 学習課題の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界に1億人以上の人口をもつ国にはどんなところがあるか調べる。</li> <li>・「国連に60億人に認定された赤ちゃん」の資料と「世界の人口の移り変わり」のグラフから現在の世界の人口を読み取り、人口の急激な増加に関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新資料を用いて調べさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示した資料に関心をもつことができたか。(意・関)</li> </ul>
10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     課題 人口は世界のどんな国で増えていくのか考えよう。                 </div>			

<p>展 開</p> <p>3 . 課題に対する 予想</p> <p>4 . 課題の追求 人口密度について</p> <p>急激な人口増加と その原因について</p> <p>3 5 分</p>	<p>【本時の教師の役割】 課題解決に適切な資料やグラフを提示していく。</p> <p>・どんな国に増えていくか予想する 【生徒の役割】 人口分布について 「工業が進んでいる国に多い」 「先進国に多い」 「中国やアメリカが多い」 人口の変化について 「年々増加していく」 ・課題解決のためにどんな資料が必要か考え、発表する。 「人口密度を表すグラフ」 「人口の変化を表すグラフ」</p> <p>・世界の人口分布をあらわす資料から自分の予想が正しいか確かめる。 ・単位面積あたりの人口密度はどの国も同じかどうか考える。 ・世界の人口密度を表す資料から，人口密度の高い地域，低い地域を読み取り，発表する。</p> <p>・インドの人口増加の予測図と地域別人口の移り変わりの資料から，人口増加率の高い国がどこに多いか読み取り発表する。 ・「減らそうとする国 インド」の資料からインドの人口増加の原因をつかみ発表する。</p>	<p>既習事項を思い出させながら予想させる</p> <p>課題追求に適切な資料を提示する。 【教師の役割】</p> <p>・アジア、アフリカ、南米地域に多いことに気づかせたい。</p>	<p>・資料から人口の分布には不均衡があることが読み取れたか。 (技・表)</p> <p>・資料から人口増加率の高い国が読み取れたか。</p> <p>・インドの人口増加の原因を読み取ることができたか(技・表)</p>
<p>終 末</p> <p>5分</p>	<p>・学習課題のまとめ</p> <p>・次時の予告</p> <p>・人口はどんなところに多く分布するか、今後どんな国で増加するかことばでまとめ発表する。</p>		<p>・学習した内容をまとめることができたか。</p>